

2014年7月17日

ウェザーニューズ、3連休の“ゲリラ雷雨”見解を発表
夏休みのスタートは全国的に大気不安定、各地で大雷雨の恐れ
～山や川、海のレジャーは天気急変に注意、異変を感じたら屋内へ避難～

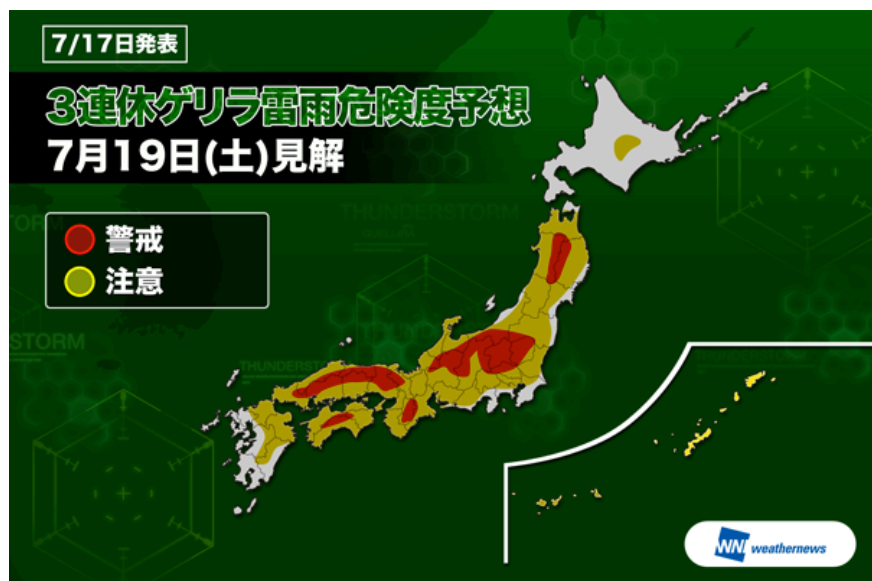
株式会社ウェザーニューズ(本社：千葉市美浜区、代表取締役社長：草開千仁)は、3連休の“ゲリラ雷雨”見解を発表しました。夏休みのスタートとなる3連休(7月19日～21日)は、上空には6月24日に東京で激しい雷雨やヒョウをもたらしたものと同程度の強さの寒気が流れ込むと共に、梅雨前線が西～東日本に停滞するため、全国的に大気が不安定になります。東北から西日本の各地で、昨年7月27日の隅田川花火大会の日のような激しいゲリラ雷雨や、今年6月末に都心で起こったものと同程度の大規模な冠水、雹や突風などにも警戒が必要です。特に、山や川、海でのレジャーは、河川の急激な増水や、落雷の恐れがあるため要注意です。不要な外出は避けるよう心がけ、予定を変更できないという方はスマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」内の『スマートアラーム ゲリラ雷雨モード』を事前に登録いただき、黒い雲や雷鳴など天気急変の前兆を感じたら、直ちに屋内へ避難してください。

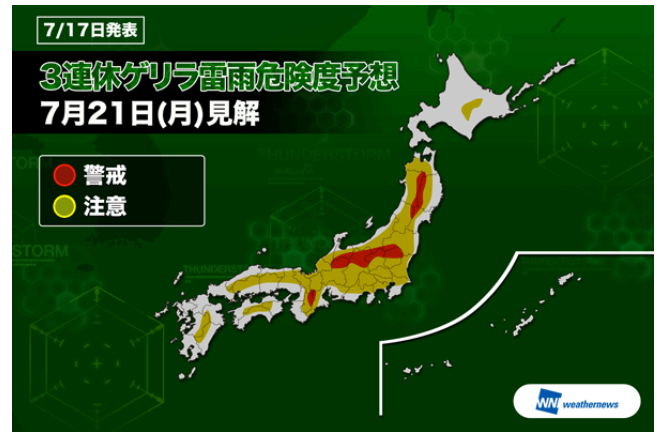
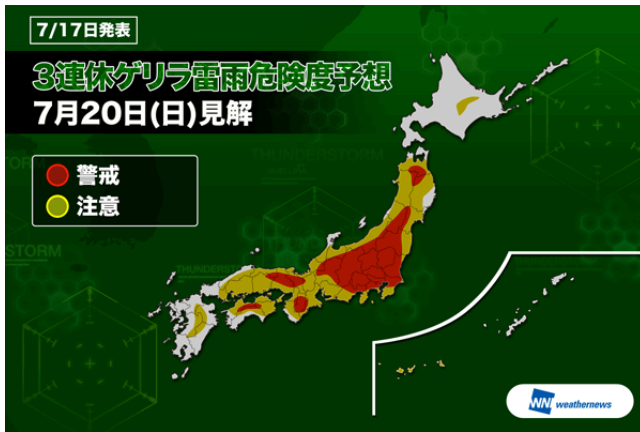
◆夏休みのスタートは全国的にゲリラ雷雨に警戒

3連休初日の19日(土)は全国的に山沿いを中心に天気の急変に警戒が必要です。特に、西～東日本では、短時間強雨や、突風、雹などの可能性があります。最新の情報を確認の上、不要な屋外でのレジャーや外出は避けてください。

20日(日)は、全国の広い範囲で大気不安定となり、各地で激しいゲリラ雷雨が多発する危険性があります。特に、東北～東日本は寒気の強まりがピークとなるため天気急変に警戒してください。急な河川の増水や落雷の恐れがあるため、山や川、海でのアウトドアは極力控えた方が安全です。少しでも異変を感じたら、直ちに屋内へ避難してください。また、西日本の山沿いでも同様に警戒が必要です。

21日(月)は東北から東日本の山沿いを中心に天気が急変しやすく、短時間に降る強い雨や、突風、雹などのシビアな現象に注意が必要です。黒い雲や雷鳴などの天候悪化の前兆を見逃さないようにしてください。





◆エリアにおける3連休“ゲリラ雷雨”最新見解

地域	危険度	詳細
北海道	注意	3連休は日差しが届いても雲が広がりやすい天気です。山間部を中心にモクモクと雲が湧いてザッと雨が降ることがありそうです。山のレジャーでは天気の急変にご注意下さい。3連休のお出かけは19日(土)がオススメです。
東北～東日本	警戒	3連休初日の19日(土)は雲が広がりやすく、ニワカ雨の可能性があるので、お出かけには折りたたみ傘があると安心です。20-21日は上空の寒気が強まり、南からの湿った空気も加わって、大気の状態が非常に不安定になります。雨雲が発達しやすくなるため、広い範囲で天気が急変、激しいゲリラ雷雨となる恐れがあります。短時間強雨や雷、突風、雹などのシビアな現象に警戒が必要です。都心部でも低い土地や道路では冠水する可能性もあります。特に、山や川、海のレジャーは、ゲリラ雷雨の影響で一気に川が増水したり、落雷が発生する恐れがあるので、控えた方が安心です。予定されている方は少しでも異変を感じたら決して無理をせず直ちに屋内に避難して下さい。
西日本	警戒	3連休前半の19日-20日は上空の寒気と南からの湿った空気の影響で、大気の状態が非常に不安定になります。雨雲が発達しやすく、広い範囲で天気が急変、激しいゲリラ雷雨となる恐れがあります。短時間強雨や雷、突風、降雹などのシビア現象にも警戒が必要です。低い土地や道路では冠水する可能性もあります。特に、山や川でのレジャーはゲリラ雷雨の影響で一気に川が増水したり、落雷が発生する恐れがあるので、控えた方が安心です。予定されている方は少しでも異変を感じたら決して無理をせず直ちに屋内に避難して下さい。3連休最終日は、ニワカ雨の可能性があり折り畳み傘が手放せませんが、日差しが届きます。レジャーも楽しめそうです。3連休のお出かけは21日(月)がオススメです。
南西諸島	注意	3連休は南からの湿った空気の影響で雲が広がりやすく、所によりザッと雨の降るところがありそうです。3連休最終日は日差しが届き、お出かけは21日(月)がオススメです。ただしカタブイには注意が必要で、もし海岸で雷鳴が聞こえたら、建物の屋内に避難するようにして下さい。